

平成4年度  
帰国研修員フォローアップチーム  
報告書

地方行政IIコース

平成5年6月

国際協力事業団  
東京国際研修センター

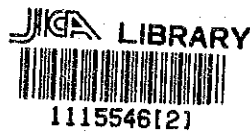
122  
43.1  
TIH

東国セ
JR
93-501



平成4年度  
帰国研修員フォローアップチーム  
報告書

地方行政Ⅱコース



平成5年6月

国際協力事業団  
東京国際研修センター

国際協力事業団

26713

## 序 文

本報告書は、帰国研修員フォローアップ事業の一環として、タイ及びインドネシアで開催した「地方行政Ⅱ」コースに係る帰国研修員フォローアップ調査に派遣された専門家チームの帰国報告書です。

地方行政分野の帰国研修員フォローアップチームは第一回目として、昭和59年11月にエジプト、パキスタン及びネパールに派遣されました。今回のフォローアップ調査では、セミナーを実施し、各国の地方行政の現状を踏まえて日本の地方行政の実情を紹介し、各国が地方行政に於て抱えている問題点について積極的に討論することに重点を置きました。

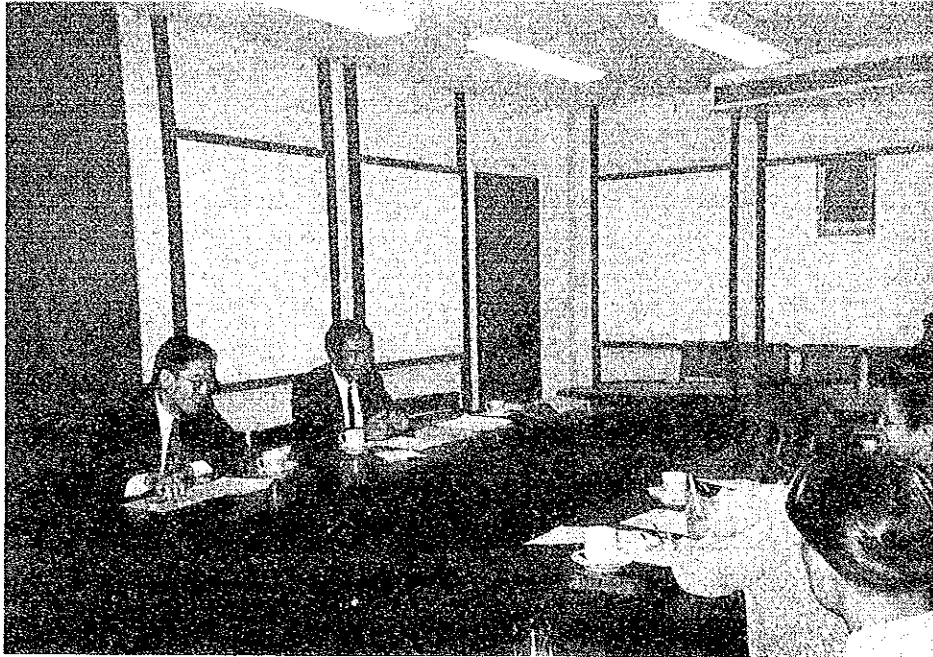
この報告書により、関係各位のさらに深いご理解をいただき、本フォローアップ事業の今後の向上改善に資することが出来れば幸いです。

最後に、本フォローアップ調査の実施及びセミナー開催にあたり、多大のご協力とご尽力をいただいた外務省、自治省、東京経済大学、在外公館、並びに各国の関係機関各位に深く感謝の意を表します。

平成5年6月

東京国際研修センター  
所長 田口 定則





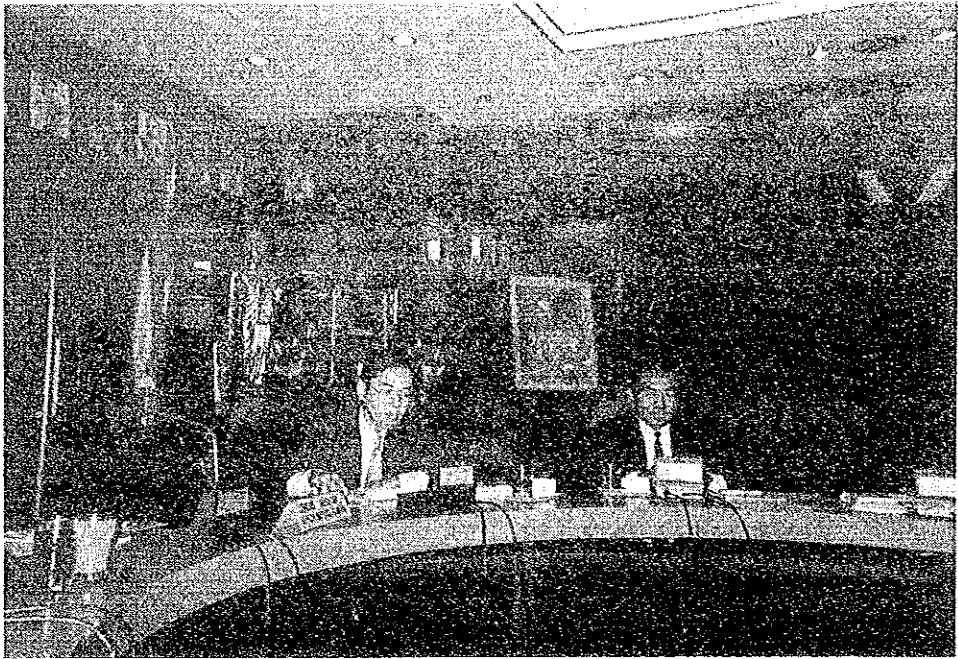
平成5年1月12日 タイDTECとのミーティング



同上 右端は稲垣富一専門家





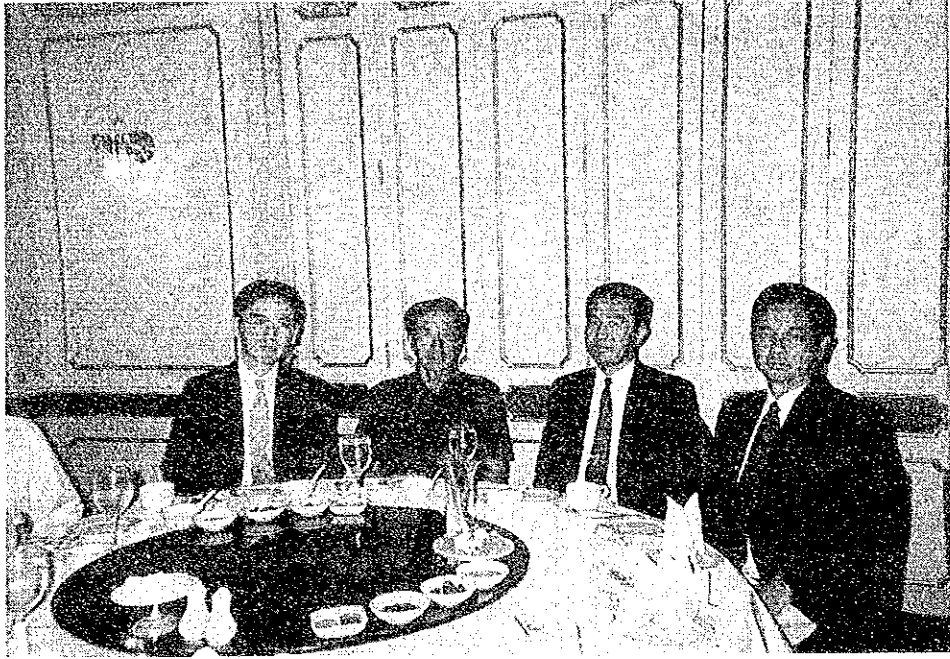


平成5年1月13日 タイ内務省地方行政局でのセミナー実施風景  
左端より、上子団長、吉村団員

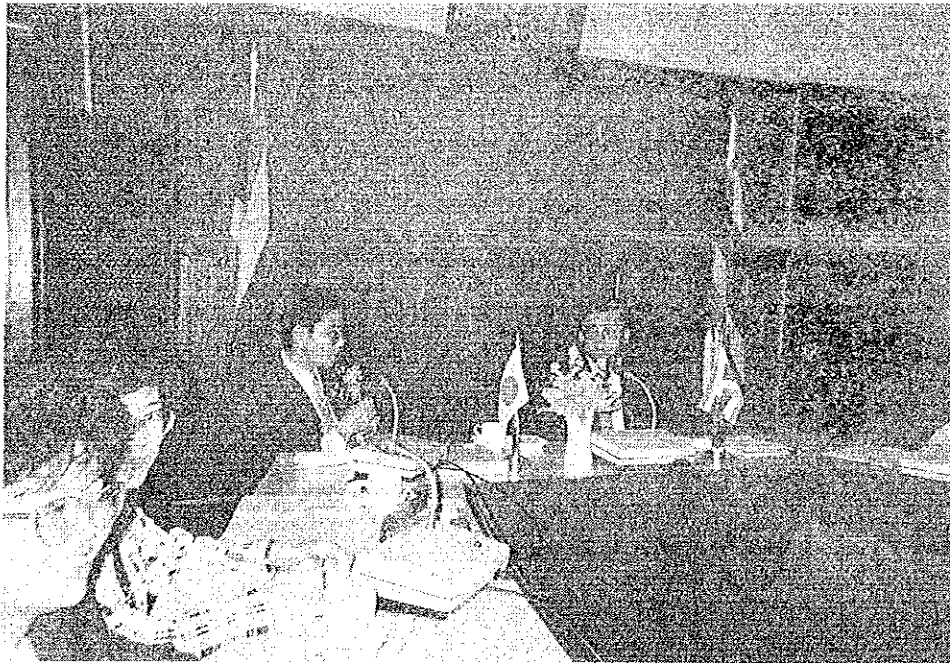


同上 セミナー受講者





平成5年1月13日 帰国研修員との懇談会

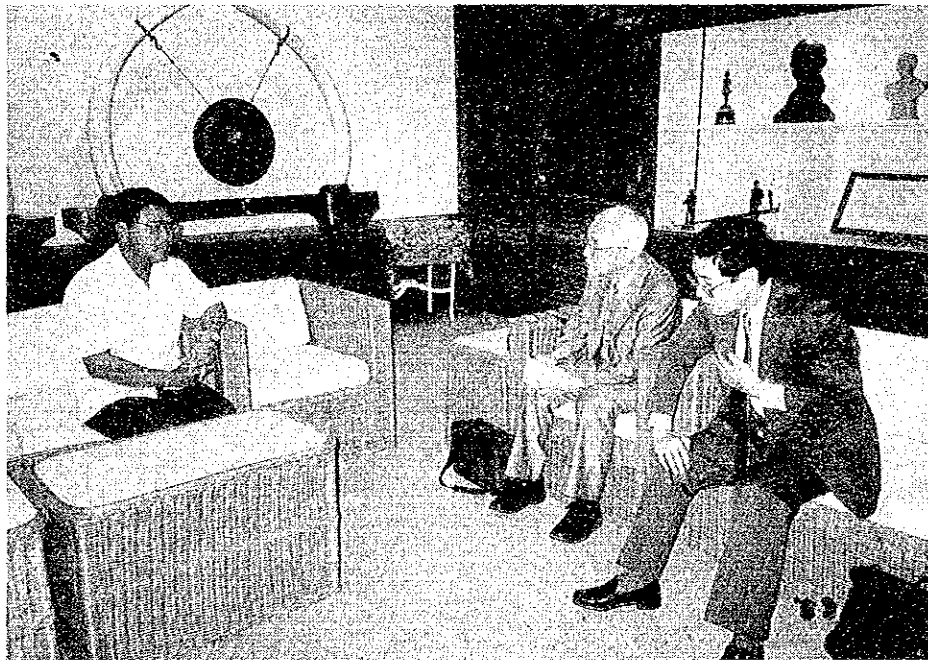


平成5年1月13日 バンコック市役所での  
帰国研修員とのミーティング



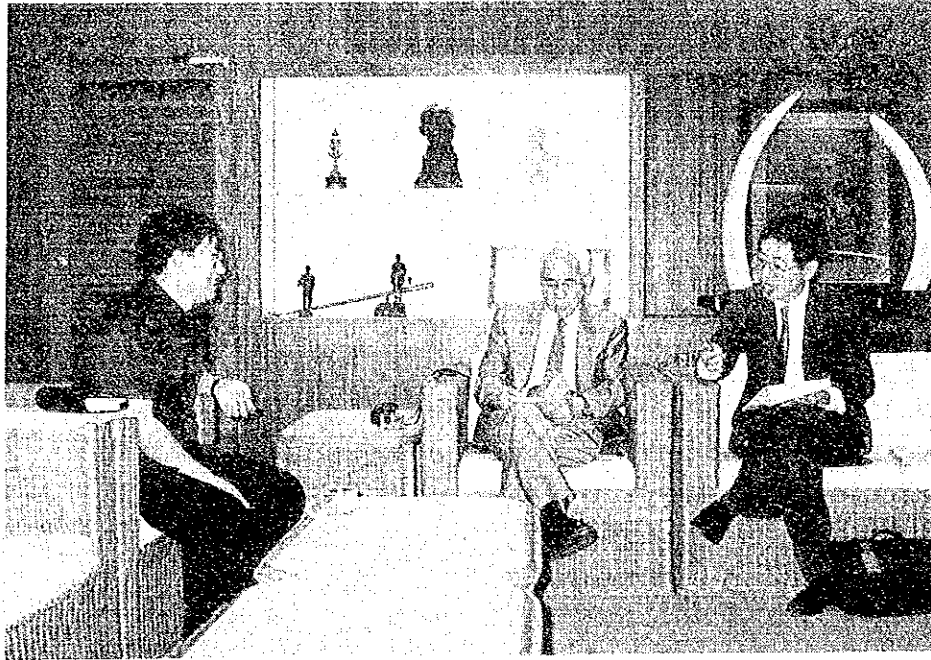


平成5年1月15日 タイ・チェンマイ州政府事務所の前で  
右端より、柴田団員、MR. Rittipong Tachapunt(帰国研修員)、吉村団員



平成5年1月15日 チェンマイ州政府事務所でのミーティング  
右端より、MR. Pongpayome Vasaputi(チェンマイ州副知事)、柴田団員、上子団長





平成5年1月15日 チェンマイ州政府事務所に於ける  
帰国研修員MR. Rittipong Tachapuntとのミーティング



平成5年1月15日 チェンマイ州政府事務所に於ける  
帰国研修員MR. Rittipong Tachapuntとのミーティング





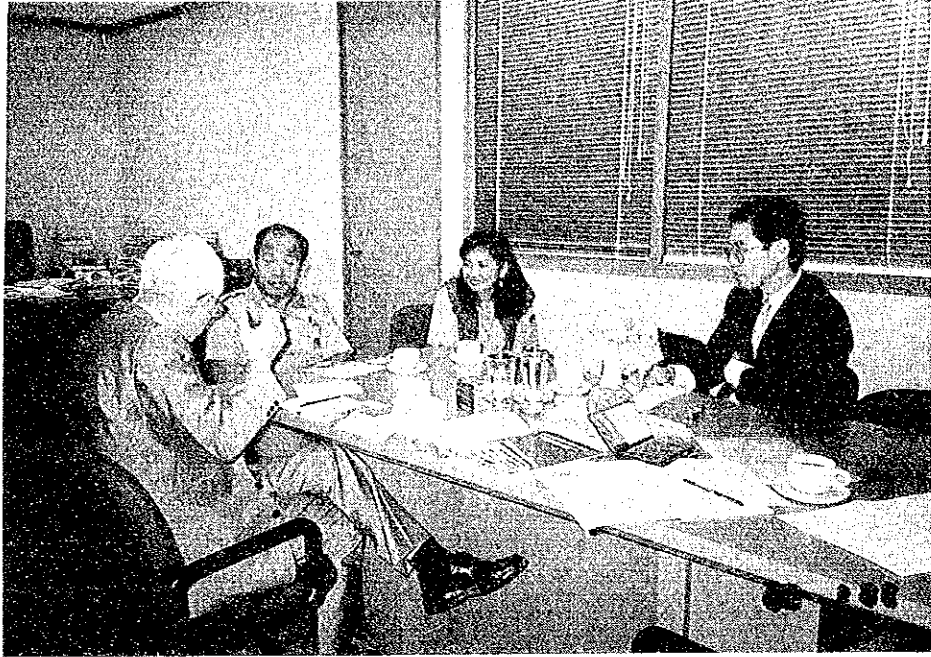


平成5年1月18日 インドネシアJICAインドネシア事務所内での打ち合わせ  
右端より、熊谷次長、推名所員

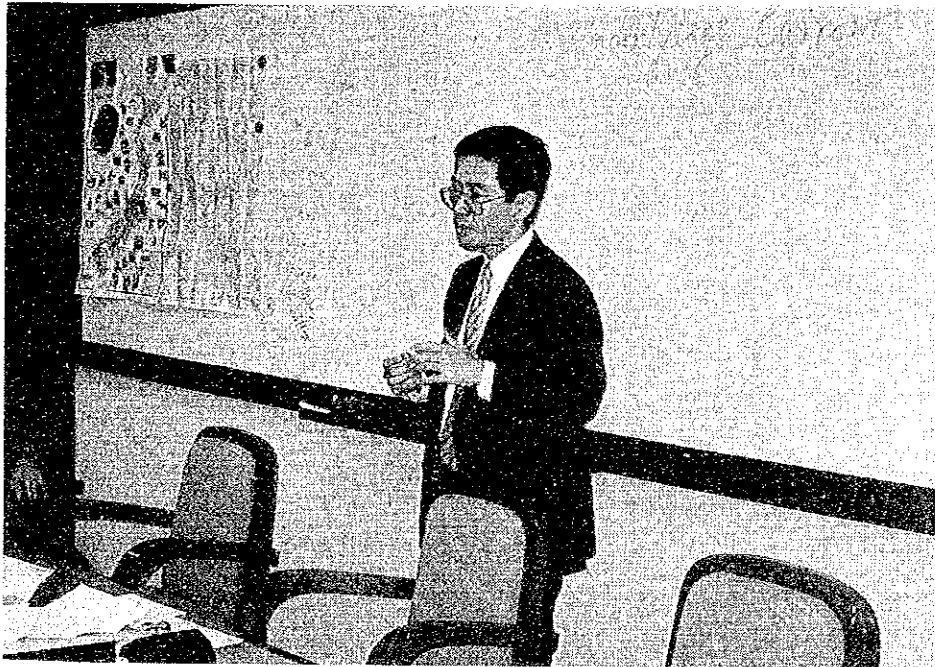


平成5年1月18日 在ジャカルタ日本大使館にて  
東野寛二等書記官の説明を受ける





平成5年1月19日 ジャカルタ市役所でのミーティング  
右端より、上子団長、Ir. Sarwo Handhayani(帰国研修員)、  
Ir. Budihardijo Sukmadi(Vice Chainman of Bappedo)、柴田団員

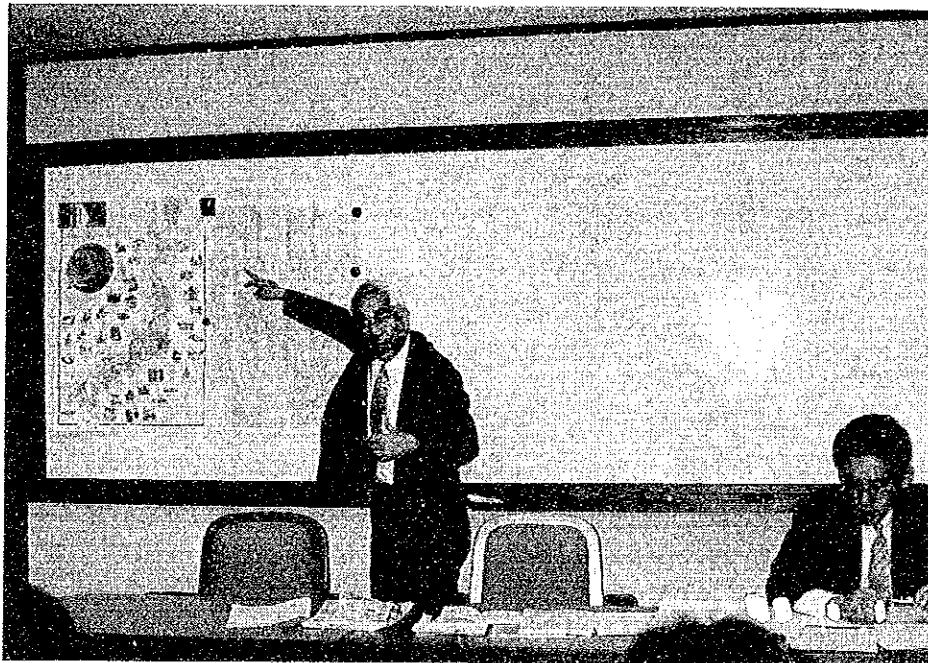


平成5年1月19日 「日本の地方行政を取り巻く状況」について講義する上子団長





平成5年1月19日 JICAインドネシア事務所内で実施されたセミナー参加者

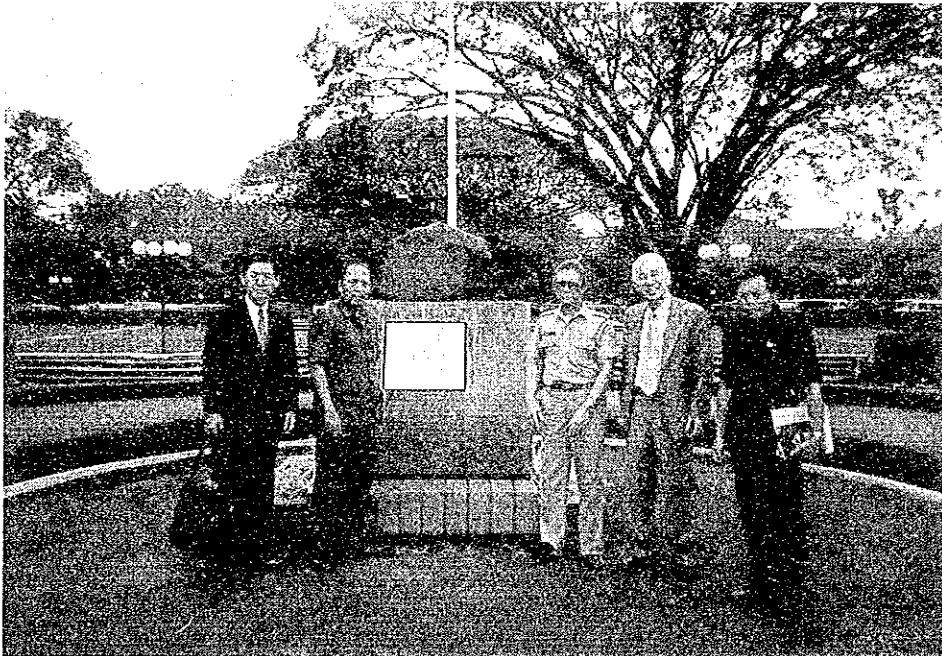


同セミナーで「最近の日本首都圏の状況」について講義する柴田団員





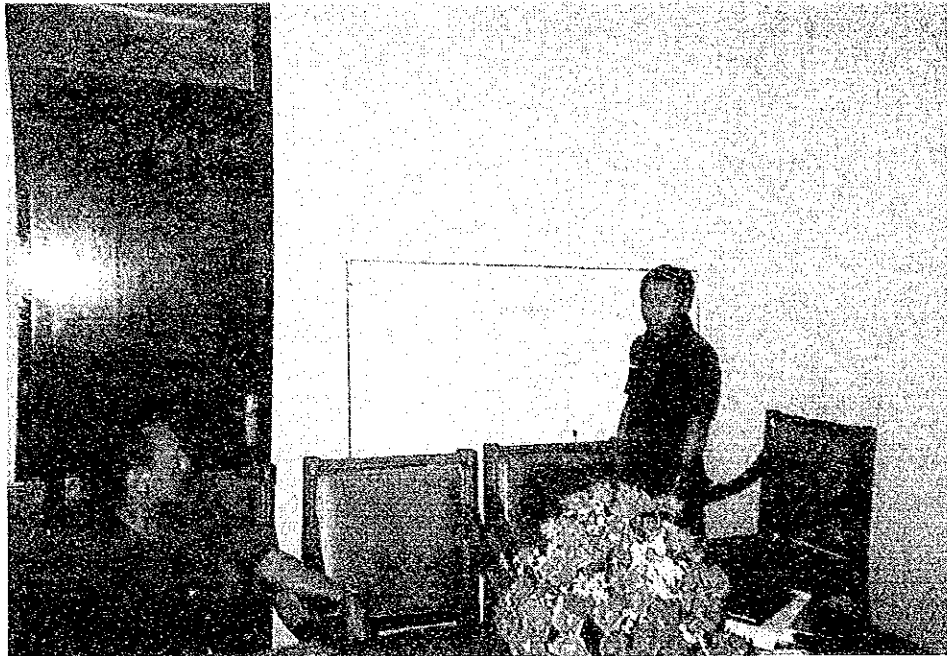
平成5年1月22日 インドネシア、バンドン市役所  
中央左側がDrs. Nadi Sastrakusumah総務部長



同上左端より上子団長、Drs. H. E. Saepudin(帰国研修員)、  
Drs. H. Nadi Sastrakusumah、柴田団員、MR. Wahyu Suradihardia(帰国研修員)







平成5年1月22日 West Jawa Investment Coordinating Board (WJICB)にて  
事業説明する帰国研修員MR. Wahyu Suradihadrdja



平成5年1月22日 ジャワ西部州政府事務所前で



## 目 次

I. フォローアップ派遣概要	1
1. 派遣国	1
2. 派遣期間	1
3. 派遣目的	1
4. 団員構成	1
5. 調査日程	2
6. 訪問機関・主要面会者	3
II. フォローアップ調査内容	6
1. タイ	6
(1) 調査項目と調査結果の概要	6
(2) 研修候補者の募集選考状況	6
(3) タイ国地方行政の現状と問題点	8
(4) 本研修及びフォローアップ事業に対する要望	8
(5) その他	8
2. インドネシア	9
(1) 調査項目と調査結果の概要	9
(2) 研修候補者の募集選考状況	10
(3) インドネシア国地方行政の現状と問題点	10
(4) 本研修及びフォローアップ事業に対する要望	10
(5) その他	10
III. セミナー内容	11
1. 日本の地方行政を取り巻く状況 ー上子団長ー	11
2. 最近の日本首都圏近況 ー柴田団員ー	11

IV. 研修コース(カリキュラム等)改善への具体的提言 .....	12
1. 研修効果を向上させるための具体的提言 .....	12
2. 日本の地方行政制度の歴史的変換 .....	12
3. フォローアップについて .....	12
V. 別添資料 .....	13
1. フォローアップアンケート集計結果(タイ、インドネシア) .....	13
2. セミナー参加者リスト(タイ、インドネシア) .....	13
3. アンケート用紙 .....	13

## I. フォローアップ派遣概要

1. 派遣国： タイ および インドネシア
2. 派遣期間： 平成5年1月11日～1月23日（13日間）
3. 派遣目的：

地方行政コースは昭和39年(1964年)から実施され受入れ研修員は39ヶ国 325名となっている。昭和59年度にエジプト・パキスタン・ネパールに本コースに係る帰国研修員フォローアップチームを派遣しており、今回タイ・インドネシアに派遣された、帰国研修員フォローアップチームが2回目の派遣となる。

派遣目的は以下のとおり

- (1) 研修候補者の募集選考状況調査
  - ①本コースへの研修員派遣の目的
  - ②研修員の選考プロセス
  - ③本コースに対する評価
  - ④他の先進国による研修
  - ⑤本コースに関する要望
- (2) 当該国に係る地方行政の現状、問題点及び将来の展望
- (3) 本研修及びフォローアップ事業に対する要望

## 4. 団員構成

団長（総括、技術指導）： 上子 秋生  
自治省自治大学校研究部長

団員（技術指導）： 柴田 徳衛  
東京経済大学教授

団員（企画・業務調整）： 吉村 稔  
国際協力事業団 東京国際研修センター 研修第2課

5. 調査日程

日順	月 日	行 程	調 査 内 容
1	1/11 (月)	NW027便 18:50成田発 23:50 バンコック着	出国日
2	1/12 (火)		タイ事務所打合せ 技協窓口 (DTEC)
3	1/13 (水)		内務省地方行政局、セミナー実施 帰国研修員との会合 バンコック市役所
4	1/14 (木)	TG114便 09:50バンコック発 10:55 チェンマイ着	移動
5	1/15 (金)		チェンマイ市役所 帰国研修員との会合
6	1/16 (土)	TG105便 14:05チェンマイ発 15:10 バンコック着	移動
7	1/17 (日)	TG413便 11:40バンコック発 16:20 ジャカルタ着	移動
8	1/18 (月)		インドネシア事務所打合せ 大使館表敬
9	1/19 (火)		内務省地方行政局、ジャカルタ市役所 帰国研修員面談、セミナー実施
10	1/20 (水)	ジャカルタ発 バンドン (国内便利用)	移動
11	1/21 (木)		バンドン市役所、West Jawa 県庁 帰国研修員面談
12	1/22 (金)	バンドン発 ジャカルタ (国内便利用) JL722便 19:00 ジャカルタ発	インドネシア事務所調査結果報告 移動
13	1/23 (土)	06:05 成田着	帰国日

6. 訪問機関・主要面会者

イ. タイにて

① J I C A 事務所

阿部 信司            所 長  
三輪 哲也            所 員  
Ms. SUMANEE NUTMAGUL 研修担当

② D T E C (タイ援助窓口機関)

Ms. SUPAPORN AKE-URU  
Chief of Japan Sub-Division

Ms. JITKASEM TANTASIRI  
Chief of Fellowship Analysis Sub division

Ms. Chomchai Suriyapoom  
Japan Sub-division

Mr. Chaisak Sukdee  
Japan Sub-division

稲垣 富一  
派遣専門家

③ Min. of Interior Department of Local Administration

Mr. Somsak Srivontna  
Deputy Director General

Mr. Phisal Keoprasom  
Deputy governor of Chachoendsao

Mr. Viri Thadtranon  
City Municipal Clerk of Phuket

Mr. Suwat Tangynoti  
Huay yod Municipal Clerk of Trang

Mr. Silpa Cheunnirun  
Chief of the Sub-division of Provincial Affairs

Mr. Anan Chaisak  
Chief of the Sub-Division of Economic and Environmental Development

Mr. Suthep Tiewtrakul  
Chief of the Section of Election Administration

Mr. Manit Thangsakul  
Assistant District officer of Phaphutabata of Sard Buri

Mr. Apiwat Samruanhant  
Community Development Specialist  
Community Development Department Min. of Interior

Mr. Semsak Seivontna  
Deputy Director General Dep. of local Administration  
Min. of Interior

Mr. Adisorn Kumnursiri  
Chief of Foreign Relation Section Dep. of Local Administration  
Tech. Service and Planning Division

④Bangkok Metropolitan Administration

DR. Karoon Chandrangsu 副知事

Mr. Anuchit Sodsathit  
Director, Dept. of Policy and Planning

Mr. Kiat Charppapat  
Director of Training Division

Mr. Prapon Vongvichien  
Director, Infrastructure and Environment Plan Division, Dept. of  
Policy and Planning

Mrs. Sirikand Kuladilog Somphan  
Chief of Law Section Medical Department

Mr. Chaitavat tousumran  
Deputy Huatkawang District Office District Officer

Mr. Surapam Wonggapan  
Deputy District Officer  
Bangkholaem District Office

Mr. Krafisorndf Tippayajun  
Policy and Plan Analyst  
Infrastructure and Environment Plan Div.

⑤Chiangmai Provincial Hall

Mr. Pongpayome Vasaputi  
Vice Governor of Changmai



Mr. Rittipong Tachapunt  
Plan and Policy Analyst  
Changmai Governer's Office

ロ. インドネシアにて

① J I C A 事務所

高橋 昭	所 長
熊谷 晃	次 長
権名 のり子	所 員
Ms. Angreni	Assistant Training Officer

② 在インドネシア日本大使館

東野 寛 二等書記官

③ 自治省地方行政局 Min. of Home Affairs

Ir. Widodo Jusuf  
Head of Sub-Directorate of Administration and Provincial Autonomy

④ Jakarta Provincial Hall

Ir. Budihardijo Sukmadi, Ms  
Vice Chairman

Ir. Sarwo Handhangani  
Chief of Land use section Regional Development Planning Board

⑤ バンドン市役所

Dr. H. Nadi Sastrakusumah  
Pemerintah Daerah Tingkat I  
Jawa Barat

⑥ West Jawa 県庁

Drs. H. E. Saepudin  
PYmt Kepala Biro Bina Perintaham Umum

⑦ West Jawa Investment Coordinating Board (WJICB)

Mr. Wahyu Suradihadrdja  
Secretary

## II. 帰国研修員フォローアップ調査内容

### 1. タイ

#### (1) 調査項目と調査結果の概要

アンケート調査の調査項目及び集計結果は別紙のとおりであるがその内容のうち興味ある点は次のとおり。

- ①研修内容については全員が満足であったと解答している。
- ②有益なプログラムとして講義を挙げているものが多い。
- ③研修の期間、参加人数等についても現状肯定的な意見が多い。
- ④教科書についても肯定的な評価である。
- ⑤利用施設について、自治大学校の施設について改善の余地ありとするものがあつた。
- ⑥フォローアップサービスとして希望するものとしては、東京でのフォローアップセミナー、JICAよりの資料の送付等があつた。
- ⑦その他、首都圏行政あるいは大都市圏行政のコースがほしいとの要望があつた。

#### (2) 研修候補者の募集選考状況

##### ①本コースへの研修員派遣の目的

- a. DTEC (Department of Technical and Economic Cooperation) においては本研修を Practical Training と扱っている。これは、Academic Training (大学での Ph. D, M.A. 等取得を目的とする研修) と対置する意味であり、この点では、的を得た扱われ方と考えられる。  
従って、日本の制度について広く見聞するという点に意義を見いだしているように感じられた。
- b. DOLA (Department of Local Administration) に於いても基本的にこの点は同じであるように見受けられた。更に加えてDOLAでは、近年タイで知事の公選制を求める等の地方自治を求める声が強まっていることから、日本の地方自治制度の実態を把握することの必要を感じているとの発言もあつた。
- c. BMA (Bangkok Metropolitan Administration) では、独自で研修生を送り始めたのが、比較的、近年でもあり、DOLAと比し、特に相違する点は見られなかった。

##### ②研修員の選考プロセス

- a. 日本側からG・IがDTECに到着した段階でDTECの政策企画部 (Policy and Planning Division) 研修プロジェクト分析審査課 (Monitoring and Evaluation Sub-Division) に回され、諾否が決定される。
- b. この後、対外協力業務第一部 (External Cooperation Division I) 日本課 (Japan Sub-Division) に回付され、そこから関係機関に適格者の推薦依頼が行なわれる。
- c. 推薦を求められるのは通常 DOLA, BMA 等であり各機関2名程度、全体で5名～6名がDTECに推薦されるようである。

- d. この推薦に関しては日本側の附した条件に加え他の条件が附されているようであり、（例えば女性の方が最高年齢が低い等）また推薦前にDTECが実施する英語能力試験で一定の成績を収めることが求められているようである。
- e. 因みに、上記の英語能力試験において求められる英語能力は、
  - 1) Academic Course
  - 2) 欧米でのPractical Course
  - 2) アジアでのPractical Courseの順になっているようである。
- f. 上記の推薦を受けたものについてDTECで勤務経験、年齢、職務の級等を考慮して選考し、日本側より推薦を求められた数を日本側に推薦している。
- g. 全体的に言ってタイ政府内の選考は公正かつ能率的に行なわれているようであり、この点は、これまでの受講者の資質、帰国研修員の現在占める地位によっても十分裏づけられているように思われる。
- h. ただ上記の毎く、本コースの研修候補者については、英語の能力があまり高く評価されていない点については、特にこれまでのタイからの研修員の英語力が必ずしも高くない点も考え非英語国では研修側の英語力が低く、この為研修員には却って高い英語力が求められる点を指摘し、改善を要望しておいた。

### ③本コースに対する評価

本コースに対する評価は概ね高いものようであり、いずれの関係機関に於いても有用である旨、及び参加人数を増して欲しい等の発言のみであり、特に改善を求める指摘はされなかった。

### ④他の先進国による研修

タイは多くの国に研修生を派遣しており、本コースの研修員の中にも帰国の2年後に都市計画についてオランダで11ヶ月研修したのもいた。

### ⑤本コースに関する要望

関係機関よりの要望事項としてはDTECよりはG・Iを前広に入手したい旨の要望、DOLAよりはより多くの職員を参加させたい旨の要望があったのが主なものである。

### (3) タイ国地方行政の現状と問題点

タイの地方団体は県・郡・行政区・村の4つのレベルから成り、また県の例外としてバンコク都郡（BMA）の例外としては自治市及び自治町が存在する。県知事、及び郡長は内務大臣が内務省職員を任命するものである。例外的にBMAには、公選の知事があり、また自治市及び自治町には公選の市議員の中から互選された市長が存在する。このようにタイの地方行政においては、地方自治の要素は限定的であり、内務省の権限が極めて大きい。

内務省の上級職員は内務省の一元的な人事管理の下に置かれているものであり、最終的には知事になる可能性を持っているようである。（帰国研修員の中にも副知事、郡長等の役職についているものがある。これまでに研修生はほとんどこのグループの職員の中から選ばれているようであり、これは我々の研修の目的にも合致しているものと思われる。ただBMAについては、現在DOLAの下に属さないこともあり（内務大臣の指揮下にはあるが）人事の交流が極めて限定的になっているようである。）現在、知事公選等の地方自治への要求が相当あるものようであり、『地方行政の地方自治化』がタイ地方行政の最大の課題であるように考えられる。

### (4) 本研修及びフォローアップ事業に対する要望

帰国研修員よりの本研修に対する要望としては

- i. 大都市制度についての研修の充実（BMA所属者より）
- ii. 研修の長期化（四ヶ月程度の）

フォローアップ事業についての要望としては

- i. LAC及び本コースに活動状況、日本の地方自治を取り巻く状況等、研修内容についてフォローアップ的内容を扱った資料を定期的に送付してもらえば有り難い。があった。

### (5) その他

本調査団に対しては、DOLAでは局次長、BMAでは副知事、チェンマイでは、知事が対応する等、先方に於いても十分な気遣いがなされているものと感じられた。またDOLAでは、帰国研修員で地方勤務をしているものは、出張させてバンコクに集めたものようであり、多くの帰国研修員が参加していた。BMAに於ては、帰国研修員全員が参加しただけでなく、帰国研修員によって個人的に調査団が夕食に招待される等、本コースが好意的に評価されていることが感じられた。

## 2. インドネシア

### (1) 調査項目と調査結果の概要

アンケート調査の調査項目及び集計結果は別紙のとおりであるがその内容のうち興味ある点は次のとおり。

- ①研修内容については全員が満足であったと解答している。
- ②有益なプログラムとして見学・研修旅行、セミナーを挙げているものが多い。  
これらは、比較的語学力が劣っていても理解しやすい研修内容であるとの見方もできよう。
- ③研修の期間、参加人数等についても現状肯定的な意見が多い。
- ④教科書についても肯定的な評価である。
- ⑤利用施設について、概ね、良好な評価である。
- ⑥フォローアップサービスとして希望するものとしては、東京あるいは研修対象国の一つでのフォローアップセミナー、JICAよりの資料の送付等があった。
- ⑦その他、日本語研修をもっとやってほしい、同期生の住所等を定期的に教えてほしい等の要望があった。

### (2) 研修候補者の募集選考状況

#### ①本コースへの研修員派遣の目的

直接目的に言及した発言はなかったが、内務省に於いては地方公共団体への権限移譲（decentralization）及び地方支分部局への権限委任（deconcentration）が現在の課題であり、日本の制度に興味がある旨、またジャカルタ市役所では大都市問題の全てを抱え、この解決のための日本のやり方に興味がある旨の発言がこういった面での日本の制度等への関心が、派遣目的になっているものと考えられる。

#### ②研修員の選考プロセス

技協窓口（SETKAB）――内務省――各州政府の流れになっているようであり、各州政府の推薦者及び内務省内部からの推薦者について現在の職務、語学力等を勘案して決定しているという。ただし語学力については内務省で語学テストを行っているが、JICAコースについてはテストは行わず、申し込みフォーム（A3）への記入内容（英語）を見て判断しているとのことである。なおジャカルタ市役所では、市役所の語学研修の結果等をも勘案して推薦者を決定しているとのことである。

#### ③本コースに対する評価

本コースのみについての具体的な評価を聞くことは出来なかったが、全体的に好意的に評価されているようであった。

#### ④他の先進国による研修

相当数あるようであるが、評価は不明。

#### ⑤本コースに関する要望

他のJICAコースを含め、割当を増して欲しい旨の要望があった。（内務省）

### (3) インドネシア国地方行政の現状と問題点

#### ①インドネシア国の地方行政制度の概要の解説

基本的に州レベル及び、市町村レベルの2層より成る地方行政機構が存在する。

(ジャカルタは両レベルを兼ねる。)

これら自治体は公選及び上級政府任命の双方の議員から成る議会を持ち、これらの首長は議会の選考で選出された候補の中から上級政府により任命される。これらの団体はまた、中央政府のの機関としても機能している。多民族国家であり、広範な自治を試めると国家が崩壊しかねないこともあり、『自治』の要素もさほど大きくないものと考えられる。また行政事務の多くは、中央政府の出向機関によって処理されている地方公共団体間の職員の異動、地方公共団体と中央政府間の職員の異動は、基本的にないということであり、タイのようなキャリア制とは異なっている。

#### ②問題点の指摘及び将来の展望

地方制度一般については先にも触れたdecentralization (地方公共団体への権限移譲) と deconcentration (地方機関への権限委任) が現在の課題と考えられているようであるが、多民族国家故の困難さもあるようである。

また人的な面では、今回の調査でも各部局でのトップが不在であると、代理しうものがないことが多かったように、人材の層の薄さを克服することも課題のひとつであろう。

### (4) 本研修及びフォローアップ事業に対する要望

帰国研修員よりの本研修についての特に具体的な要望は見られなかった。

また、フォローアップ事業については、現地の事業よりも、東京でフォローアップセミナー的なものを開催してもらえば有り難い。その場合は、旅費自弁でも良いとの意見があった。

なお、直接、本研修に関するものではないが、日本において研修を受けた者が帰国する際に、お土産として、研究のための機材を供与してはどうか。他の先進国はそれに随分力をいれているとの現地在住の日本人研究者の意見があったことを付言する。

### (5) その他

選挙前という時期にもよるのであろうが、訪問先のアポイントが次々にキャンセルされるなど、仕事を効率的に行う環境が未だ完成されていないことがうかがわれた。

この国での経済協力の困難さが、感じられたところである。

### Ⅲ. セミナー内容

#### 1. 日本の地方自治を取り巻く状況

—上子団長—

研修生の帰国後の我が国の地方自治及びそれを取り巻く状況を説明することを目標として

①我が国社会におけるメカトレンド

②地方自治をめぐる最近の動き

について、説明した。

具体的には、我が国社会におけるメカトレンドに関しては、近年の

ア 高 齢 化 —特に少子化傾向、また、年金財政等への影響等

イ 国 際 化 —特に外国人労働者の増加等

ウ 情 報 化 —最近の情報媒体の発達等

エ 価値観の多様化

等について、説明した。

地方自治をめぐる最近の動きとしては、

ア 広域行政の展開 —基金の造成等

イ 地方分権 —パイロット自治体をめぐる動き

等について、説明した。

また、平成5年度の地方行政集団コースの概要についても言及した。

#### 2. 最近の日本首都圏近況 —柴田団員—

今回のインドネシア共和国を訪問し、その国土の広大なこと（東端から西端までの距離は、米国大陸のニューヨークからサンフランシスコもでより更に長い）、首都ジャカルタが人口一千万に近く、あらゆる近代施設を持って発展していること等に感銘を受けた。ジャカルタ（あるいは他の大都市）に参考となるどうか、東京圏の近況を少し報告しよう（ここで用意した日本全国図と首都圏図黒板に貼り、位置その他を概略説明しながら進める。）

インドネシアの人口の三分の二強、すなわち一億二千万余ある日本の人口のうち、その約四分の一が半径五十キロ弱の東京圏に集中している。そしてここに経済活動が大きく集中し、日本経済が発展するほど交通や水、ゴミ等々の問題を生じさせ、その対策に苦勞してきた。

今毎朝東京圏周辺から約二百五十万人が都内二十三区へ通勤してくる。これらの人々がもし自動車（特にマイカー）で通勤したら大混乱が起るだろうが、幸い鉄道や地下鉄が発達し、高能率で乗客を運ぶ。これら公共輸送手段が、バスを除き少ないジャカルタでは今後経済発展と乗用車普及が進むほど、（当国が産油国だけにこの可能性大）、交通混乱は拡大しよう。

東京の隅田川や多摩川は1970年前後、水質汚濁が進み死の川と呼ばれた。その後下水道の普及、ゴミ投入の規制、工場廃水の厳しいコントロールで汚濁の進行は止まり、バクテリアも住めない悪臭の川から、最近は魚も釣れるといわれるまで不十分ながら回復してきた。この点ジャカルタ市は研究の余地がまだ大きいようだ。いかに僅かの費用で成果をあげるか、各種研究の余地がある。

東京は区部の人口八百万余で、そこから毎日一万五千トン前後のゴミが排出され、その処理に苦勞している。目下焼却工場を十五ほど作り、焼却できるゴミをできるだけ焼却し、衛生処理とゴミの減量に努めている。平均温度が東京より高く、腐敗も進みやすいジャカルタ市（さらにバンドンや他のすべての都市）にとり、今後経済発展に伴うゴミの処理を従来通りただ周辺地への埋め立てですまされるか、大きな研究課題であろう。

以上どの事業をとっても財源が必要であり、地方財政の強化、地方税制の整備が日本で努力しているところであり、インドネシアでも同じであろう。

#### IV. 研修コース（カリキュラム等）改善への具体的提言

##### 1. 研修効果を向上させる為の具体的方法

地方行政に関する研修は、その性格上、言葉で表される概念を多用せざるを得ない。

（技術に関するものが、科学的概念に依存されると対比される意味において）従って非英語圏に於ける英語を使用しての英語を母国語としないものに対する研修という点で研修実施側に於いても、研修効果に不安が全くない訳ではない研修であったが、今回の訪問調査の結果、各国に於いて本研修の効用は高く評価されているように見受けられた。このことから、現行の研修内容は、基本的には妥当なものと考えるが、言語上の意志疎通の困難さは、常に念頭に置かれるべきものであり、このことから、また、研修員の感想からも、現在行われている研修カリキュラムの中でのセミナーの重視、フィールド・トリップの多用について引き続きこれらを重点的に実施していくことが必要であると思われる。また1対1のコミュニケーションの場所を設けるチューター制についても検討するべきであると考えられる。

##### 2. 日本の地方行政制度の歴史的変遷

今回調査した国はいずれも、その地方行政制度は我国、大正～昭和初期の制度に類似したものであり、ここから地方自治制度の強化が次の目標になっているものと考えられる。この点で、我国地方制度の変遷に関する興味は強く、この点についてもカリキュラム編成の中で考慮していく必要がある。

##### 3. フォローアップについて

フォローアップ活動については、その強化を求める声が帰国研修員の中に圧倒的であったが、その要望内容は概ね、次の二つであった。

- ①研修内容に関する最新情報を内容とする資料の送付。
- ②日本における短期のフォローアップセミナーの開催

特に後者については旅費自弁でもよいからという声もあり、また諸外国の研修での実施例もあるとのことであるが、検討に値するものではなからうか。



V. 別途資料

1. フォローアップアンケート集計結果
  - (1) タイ P 14 ~ P 15
  - (2) インドネシア P 16 ~ P 18
  
2. セミナー参加リスト
  - (1) タイ P 19
  - (2) インドネシア P 20
  
3. アンケート用紙 P 21 ~ P 26

アンケート集計結果(タイ)

1. 研修内容について。

(1) 研修内容に満足しましたか？

満足した 5人

(2) 有益なプログラムは何でしたか？

講義 3人  
 ナー 1人  
 セミナ 1人  
 見学の研修旅行 1人  
 を他の 0人  
 無回答 0人

理由：詳細に書いたり、内容を覚えるために適切な見学のプログラムを私たちが用意した。

(3) 研修中、あれこれ質問したり、意見を述べたことはありましたか？

研修中、あれこれ質問したり、意見を述べたことはありました。デモンストレーション。有効利用をするために有益であった。研修中、あれこれ質問したり、意見を述べたことはありました。デモンストレーション。有効利用をするために有益であった。研修中、あれこれ質問したり、意見を述べたことはありました。デモンストレーション。有効利用をするために有益であった。

(4) 研修内容を強化するために次項についてのあなたの意見、要望を書いてください。

① 研修期間について。  
 現状のままで 4人  
 4ヶ月 1人

② 研修を実施する時期について。  
 現状のままで 4人  
 3月-7月 1人

③ 研修員の参加人数について。  
 現状のままで 4人  
 18-20人 1人

④ 研修員の構成について。(職種、年齢、経験など)  
 現状の研修員は行政機関の中間官吏であるべき。年齢は30-40才。  
 年齢構成  
 30% 25-35才  
 40% 35-45才  
 30% 45才以上  
 実務経験  
 初級 5-6年  
 中級 7-8年  
 上級 8年以上

⑤ 教科書について。  
 大変良い 1人  
 良い 3人  
 無回答 1人  
 その他教科書は良かったが、新聞も参考資料に使用するとよい。

⑥ 利用施設、宿泊施設について。  
 大変良い、満足した 1人  
 良い 2人

その他、部屋の電話を置くべきである。TICの施設は満足したが、LACに関しては改善の必要あり。

⑦ その他の意見。 無回答 1 3 人

(5) 研修コースにおける次項の内容を強化するためにあなたの意見を書いて

① 講義について。 ① 講義の減らすべき。 ① 講義の減らすべき。 無回答 2 人

② セミナーについて。 ② 講義のある講師を増やすべき。 無回答 4 人 1 人

③ 見学・研修旅行について。 ③ 見学の時間短縮。 無回答 4 人 1 人

(6) 研修員に必要なものとして考える人 (例: 専門家の派遣。関係書類、書物の送付。)

研修員に必要なものとして考える人 (例: 専門家の派遣。関係書類、書物の送付。)

2. 現職の組織、機能について書いてください。

- ・ 地方行政官補佐としての5つの課(管理、登録、衛生、法施行、歳入)
  - ・ 地方行政官運の管理、監督。地方自治体に関するすべてを援助。
  - ・ 地方行政の援助調整。農村部、都市部における計画の実施、検討を行う
- 無回答 2 人

3. その他、研修に關する意見を書いて下さい。 研修は私に關する意見がある。可能な場合は首都圏行政の新コース。 無回答 3 人

アンケート集計結果（インドネシア）

1. 研修内容について。

(1) 研修内容に満足しましたか？

満足しました	9人
ほぼ満足した	10人
無回答	5人

(2) 有益なプログラムは何でしたか？

講義	2人
セミナー	5人
見学	10人
その他	11人
無回答	5人

理由：  
 ・ 詳細な資料をいただきました。知識を得ることが  
 ・ 現地での相互意見交換ができた。  
 ・ 比較し、新しいシステムを取り入れることができた。  
 ・ 現場の事例を比較し、この比較。  
 ・ 重要な人条を比較し、この比較。  
 ・ 自治体の組織と重要な人条を比較し、この比較。  
 無回答 7人

(3) 研修中、あなただけの経験や見聞、学んだこと、（初等教育）のシステムについて

・ 研修中、あなただけの経験や見聞、学んだこと、（初等教育）のシステムについて  
 ・ 研修中、あなただけの経験や見聞、学んだこと、（初等教育）のシステムについて  
 ・ 研修中、あなただけの経験や見聞、学んだこと、（初等教育）のシステムについて  
 ・ 研修中、あなただけの経験や見聞、学んだこと、（初等教育）のシステムについて  
 ・ 研修中、あなただけの経験や見聞、学んだこと、（初等教育）のシステムについて  
 無回答 8人

(4) 研修内容を強化するために次項についてのあなたの意見、要望を

① 研修期間について。

2ヶ月	1人
3ヶ月	11人
4ヶ月	3人
無回答	1人

② 研修を実施する時期について。

4月～6月	3人
5月～6月	11人
春夏	1人
無回答	1人

③ 研修員の参加人数について。

10～15	4人
20	1人
40	1人
無回答	9人

④ 研修員の構成について。（職種、年齢、経験など）  
 ・ 研修員の構成について。（職種、年齢、経験など）このときが望ましい。  
 ・ 研修員は、自治体の条件が同じであるべきである。  
 ・ 研修員は、自治体の条件が同じであるべきである。  
 ・ 20-40年間、多様な職種の経験者であること。  
 ・ インドネシアからの多数の参加者を希望。

無回答 10人

⑤ 教科書について。  
 教大良重そ 1 3 1 人 人 人  
 変い良重そ 1 3 1 人 人 人  
 重要な他教科書を使用する授業者ばかりではなく、シュミレーションを使用  
 ので、他教科書を使い、実地研修をする授業者は少ない。  
 ・少ない。ある。  
 ・十分  
 無回答 7 人

⑥ 利用施設、宿泊施設について。  
 利大良そ 4 3 人 人 人  
 変い良そ 4 3 人 人 人  
 の他施設に研修員用のキッチンがあるときで  
 ・施設は常に良い状態にあるべきである。  
 ・各施設に研修員用のキッチンがあるときである。  
 無回答 9 人

⑦ その他の意見。  
 観光旅行が良かった 2 人  
 無回答 1 3 人

(5) 研修コースにおける次項の内容を強化するためにあなたの意見を書いて

① 講義について。  
 講義の他研修員にはとってリデータシッブとして立場は重要であり、人的資  
 義の他研修員にはとってリデータシッブとして立場は重要であり、人的資  
 ・他研修員にはとってリデータシッブとして立場は重要であり、人的資  
 ・他研修員にはとってリデータシッブとして立場は重要であり、人的資  
 ・他研修員にはとってリデータシッブとして立場は重要であり、人的資  
 ・他研修員にはとってリデータシッブとして立場は重要であり、人的資  
 無回答 2 人

② セミナーについて。  
 セミナーはなかった 2 人  
 十分の他研修員にはとってリデータシッブとして立場は重要であり、人的資  
 ・他研修員にはとってリデータシッブとして立場は重要であり、人的資  
 ・他研修員にはとってリデータシッブとして立場は重要であり、人的資  
 ・他研修員にはとってリデータシッブとして立場は重要であり、人的資  
 無回答 1 0 人

③ 見学の研修旅行について。  
 見学の他研修員にはとってリデータシッブとして立場は重要であり、人的資  
 ・他研修員にはとってリデータシッブとして立場は重要であり、人的資  
 ・他研修員にはとってリデータシッブとして立場は重要であり、人的資  
 ・他研修員にはとってリデータシッブとして立場は重要であり、人的資  
 無回答 2 人

(6) 研修員に必要なものとして考える人は受  
 元研修員に必要なものとして考える人は受  
 ・研修員に必要なものとして考える人は受  
 ・研修員に必要なものとして考える人は受  
 ・研修員に必要なものとして考える人は受  
 ・研修員に必要なものとして考える人は受  
 無回答 2 人  
 研修員に必要なものとして考える人は受  
 ・研修員に必要なものとして考える人は受  
 ・研修員に必要なものとして考える人は受  
 ・研修員に必要なものとして考える人は受  
 無回答 1 2 人

2. 現職の組織、機能について書いてください。

- ・ 投資家（国内、外）に西ジャワ地域の投資情報提供を関係許可証、その他諸許可証の
- ・ 土地発投資業務の監視及び管理。
- ・ 投資計画の作成レベルに従事—レベル2に対する管理。
- ・ 投資協会の組織（900人のスタッフ）
- ・ 知事事務のタスク（900人から選出される）
- ・ 人事管理部門—タスクの調整、指導、監視、
- ・ 人評—タスクの調整、指導、監視、
- ・ わたし関係するタスクの調整、指導、監視、
- ・ 副管理に

無回答

10人

3. その他、研修に希望する。

- ・ 国際研修に希望する。
- ・ 見学の研修に希望する。
- ・ コーポレート研修に希望する。
- ・ 地政学研修に希望する。
- ・ 地方自治研修に希望する。
- ・ 行政研修に希望する。
- ・ 語学研修に希望する。
- ・ 進歩研修に希望する。
- ・ 日語研修に希望する。
- ・ 無回答

セミナー参加者リスト (タイ)

No	N A M E	P O S I T I O N	A D D R E S S
1	MR. PHAISAL KEOPRASOM	DEPUTY GOVERNOR OF CHACHOENGASAO	
2	MR. VIRI THADTRANON	CITY MUNICIPAL CLERK OF PHUKET	
3	MR. SUWAT TANGYUOTI	HUAY YOD MUNICIPAL CLERK, TRANG.	
4	MR. SILPA CHEUNNIRUN	CHIEF OF SUBDIVISION OF PROVINCIAL AFFAIRS	
5	MR. ANAN CHAIYARSAK	CHIEF, SECTION OF ECONOMIC AND ENVIRON- MENTAL DEVELOPMENT MINISTRY OF INTERIOR	DEPT. OF LOCAL GOVERN- MENT ASDANG RD. BANGKOK 10200
6	MR. SUTHEP TIEWTRAKUL	CHIEF OF THE SECTION OF ELECTION ADMINIST- RATION	
7	MR. MAINT THANGSAKUL	ASSISTANT DISTRICT OFFICER OF PHAOHUTA- BATA.	
8	MR. APIWAT SAMRUANHANT	COMMUNITY DEVELOPMENT SPECIALIST	ASDANG ROAD BANGKOK 10200 THAILAND
9	MR. SOMSAK SRIVONTNA	DEPUTY DIRECTOR GENE- RAL. DEPT. OF LOCAL ADMINISTRATION, MINISTRY OF INTERIOR	
10	MR. ADISORN KUMNURDSIR	CHIEF OF FOREIGN RELA- TION SECTION, DEPT. OF LOCAL ADMINISTRATION	

セミナー参加者リスト (インドネシア)

No	N A M E	P O S I T I O N	A D D R E S S
1	MS. ZAHARANI. MARGUITA	LECTURE FACULTY, PADJADJARAN UNIV.	JATINANGOR KM 21 SUMEDANG JAWA BARAT
2	MS. JUNI KOMALASANI	LECTURE FACULTY, PADJADJARAN UNIV.	JATINANGOR KM 21 SUMEDANG JAWA BARAT
3	MS. SRI UTAMI DEWI	LECTURE FACULTY, PADJADJARAN UNIV.	JATINANGOR KM 21 SUMEDANG JAWA BARAT
4	MR. LAMRIA SIAHAAN	MINISTRY OF PUBLIC WORKS	JL. PATTIMURA NO 20 JAKARTA SELATAN
5	MR. THAMRIN ADIPURA	DEPUTY HEAD OF BOGOR REGERNMENT	JL ACE SUKARNA 3
6	MR. B. MANALU	JAKARTA CITY GOVERN- MENT (BIRO KTLN)	DKI JAKARTA, JL. MERDEKA SELATAN 8-9
7	MR. ANTON SUMARTONO	HEAD OF CENTRAL JAVA REGIONAL REP. OFFICE	JL. DARMAWANG SA VIII 126 JAKARTA
8	MR. ARWAN EFFENDI SURBAKTI	HEAD OF EVALUATION & REPORT, EDUCATION & TRAINING AGENCY MINISTRY OF HOME AFFAIRS	NO. D.29 JL. PAHLAWAN NO. 8 JAKARTA SELATAN
9	MR. BAMBANG SARDJITO	BIRO BIRA BANGOAREHDA JAKARTA CITY GOVERNMENT	JL. MEDAU MERDEKA SELATAN NO. 8-9 JAKARTA
10	MR. MEMET R.	ECONOMIC STAFF AT BAPPEDA-DKI	MARDEKA SELATAN 8-9 CENTER JAKARTA
11	MR. RATNANINGSIH	BUREAU OF ECONOMIC JAKARTA CITY GOVERN- MENT	JL. MERDEKA SELATAN 8-9
12	MR. AKIO ISHII	PLP CIPETA KARYA DPU (JICA EXPERT)	JL. RADEN PATBEH 1/1 PLP BLD. 5F JAKARTA



## QUESTIONNAIRE

To : Ex-participants in the Local Government Course  
From : JICA and LAC

A Follow-up Team is shortly visiting your country for the purpose of appraising the effectiveness of the course.

To make a more accurate appraisal, we would appreciate your cooperation by answering the following questionnaire.

### I. General Information

- (1) Full Name :
- (2) Home Address :
- (3) Office Address :
- (4) Office Telephone Number :
- (5) Office Facsimile Number :
- (6) Year in which you participated in the course :
- (7) Career after the participation :

Duration of Service

Post

(8) Please draw the organizational chart of your organization and indicate your position.

(9) Please describe your present responsibilities.

(10) Please describe the seminar and training courses you attended after completing our course.

Year of Participation :  
Duration of Seminar / Training Course :  
Name / Title of Seminar / Training Course :  
Place of Seminar / Training Course :  
Organized by :  
Sponsored by :

Year of Participation :  
Duration of Seminar / Training Course :  
Name / Title of Seminar / Training Course :  
Place of Seminar / Training Course :  
Organized by :  
Sponsored by :

Year of Participation :  
Duration of Seminar / Training Course :  
Name / Title of Seminar / Training Course :  
Place of Seminar / Training Course :  
Organized by :  
Sponsored by :

## II. Questions on the Course

- (1) To what extent was your expectation fulfilled by the Course ?
1. Satisfied
  2. Largely satisfied
  3. Not satisfied

If not satisfied, please state the reason.

- (2) What was the most interesting part of the program ?
1. Lectures
  2. Seminars
  3. Observation visits and trips
  4. Others

Please state your reason.

- (3) Was there any occasion(s) where your experience in the course was especially useful ? If any, please describe it.

- (4) Please give us your comments or suggestions on the following items for the improvement of the course.

1. Suitable duration of the course
2. Suitable time of the year to implement the course
3. Suitable number of participants
4. Suitable mixture of participants (post, age, experience etc.)

5. Your opinion on the textbooks

6. Your opinion on the facilities and accommodation

7. Others

(5) Please give us your suggestions for improvement on the contents of the following parts of the Course.

1. Lectures

2. Seminars

3. Observation visits and trips

(6) Please give your opinion as to if Follow-up Service for the Ex-participants by JICA is desirable and , if yes, indicate what kind of service you would like to expect.

(e.g. despatching experts, providing written materials etc.)

III. Please explain briefly the functions and organization of the body for which you work at the moment. If there is some material(s) about it, please attach it.

IV. If you have any other comment related with the Course, please state it here.





JICA